

放送の実運用に耐えうる品質・システム環境を評価し、 65V型フルHDディスプレイとVSP-NS7によるデジタルサイネージを実現。

お客様のニーズ・課題

デジタルサイネージの広告効果の高さに注目し、放送局としての新たな価値を生み出す“武器”として活用したい。全3回の実証実験を行い導入を決定。

導入効果

「bijin-tokei仙台版」などを配信し、広告代理店から一般歩行者まで幅広い注目を集めた。今後はハードウェアとコンテンツを連携した展開を図る予定。



株式会社東日本放送様

KHBの愛称で親しまれている東日本放送様は、仙台市に本社を置き、宮城県を放送対象地域とするテレビ朝日系列の放送局です。2010年に開局35周年を迎え、「いいことなごう KHB」を新キャッチフレーズとして、地域の魅力を大切に、人々が心から豊かさを満たすための番組やイベントを企画して、様々な「いいこと」をつないでいます。また、宮城県内での「美人時計」ライセンスを共同取得し、2010年4月より「bijin-tokei仙台版」をリリースしました。



株式会社東日本放送

取締役 桜井元様と、編成業務局 広報室 海老田巨様、営業センター東京支社 営業部 萩原秀一様にお話を伺いました。
(写真左より海老田様、桜井様、萩原様)

導入背景

デジタルサイネージの広告効果に注目し全3回の実証実験を実施。

デジタルサイネージに注目したのは、交通機関や商業施設などに設置されているデジタルサイネージが話題となり、同じコンテンツを繰り返し再生するだけのビデオ広告と比べて、より優れた効果が期待できると感じたからです。インターネットでの広告サービス展開に加え、デジタルサイネージという媒体を“武器”として活用することで、放送局として新しい価値を提供できるのではないかと考え、実証実験を行うことになりました。その第1回目が2009年5月に開催された「KHBフリーマーケット」です。第2回目は同年9月の「KHBまつり」、第3回目は2010年5月の「KHBフリーマーケット」と合計3回の検証を重ねて、デジタルサイネージの導入が決定しました。



2010年KHBまつり時のGXD-L65H1。

選定理由

放送の実運用に耐えうる品質とシステム環境を評価して導入を決定。

ソニーさんには実証実験の初回からご協力いただき、デジタルサイネージやパブリックディスプレイだけでなく、非接触型ICカード“Felica”のイベントでの活用など、各方面からバックアップしていただきました。実は第1回目で使用したデジタルサイネージは、海外メーカーの製品でした。実験の初回ということもありましたが、このシステムがイベント中に何度も落ちてしまい、その反省も踏まえて第2回目はソニーのデジタルサイネージを採用しました。ソニー製品はさくさくと機敏に動作し、放送の実運用に耐えうる品質だと感じました。ソニーさん自身が放送のことをよく理解しているからだと思っています。

さらに第3回目の実証実験を経て、ソニー製品への信頼がより高まり、第3回目の実験環境と同じデジタルサイネージプレーヤーVSP-NS7と65V型フルHD液晶ディスプレイGXD-L65H1の導入が決定しました。



本社ロビーに設置のGXD-L65H1。
VSP-NS7はディスプレイ背面に取り付け。

● 導入効果

コンテンツの効果的な活用により広告代理店などの注目を集めた。

2010年7月に、3式のVSP-NS7とGXD-L65H1とともに、スピーカーシステムSS-SPG02×3台と、VSP-NS7専用マネジメントソフトウェアVSPA-D7×2式、VSP-NS7専用モニタリングソフトウェアVSPA-M7×2式、GXD-L65H1用移動式ディスプレイスタンドPDE-1500×3台を導入しました。通常は、本社ロビーに1式、営業所センターのショーケースに2式を常設し、話題の「bijin-tokei仙台版」や、KHBが取り組む「KHBグリーンキャンペーン」および「開局35周年事業」などの紹介コンテンツを配信しています。特に営業センターでは、一方のディスプレイに動きの少ない「bijin-tokei仙台版」を、もう一方に放送局コンテンツやクライアントCMなど動きのあるコンテンツを流すことで高い視覚効果が得られ、歩行者の注目を集めているようです。「bijin-tokei仙台版」を長時間眺めている方もいらっしゃると思います。まだ数字には表れていませんが、広告代理店やクライアントが関心を持ってくださっていることは感じています。いずれ結果に結びつくだろうと期待しています。

VSPA-D7やVSPA-M7の操作は、非常に分かりやすいと思います。プレイリストの作成やスケジュール設定、外部コンテンツの取り込みまで、専門知識がなくても直感で操作できます。細かい設定を行うにはマニュアルの確認が必要ですが、使用頻度の高い機能はすぐに覚えられました。この操作性のよさを活かし、今後はコンテンツの更新頻度をあげて、「今日の何時から、これこれこういう番組が始まりますよ」といったタイムリーな番組紹介なども提供したいと考えています。

最近では、2010年9月に開催の「KHBまつり」で、イベント会場に3式すべてを集め、第3回目の実証実験と同様に3面マルチでの運用を行い、来場者から大きな注目を浴びていました。



KHB営業センターにはGXD-L65H1を縦置きと横置きの1台ずつ設置。サイズが大きく輝度もあることで通りからの視認性も良い。



本社ロビーに設置のGXD-L65H1は移動式のスタンドでフレキシブルな設置が可能。

● 今後の展望

bijin-tokeiとの連携など広告メディアとしての新しい可能性を提案。

本社ロビーの1式は、クライアントへの貸し出しなども念頭に置いて、フレキシブルに移動できるようにしています。たとえば「bijin-tokeiいかがですか？」と売り込んで、企業のロビーに1ヵ月設置するなどといったサービス展開も計画しています。クライアントの製品とbijin-tokeiをタイアップして、24時間のうち1時間の枠だけ買ってもらったり、さらにはデジタルサイネージというハードウェアとコンテンツをセットで買ってもらったりなど、様々なサービスが考えられますね。広告メディアとしての新しい可能性を提案していく予定です。



話題のbijin-tokei仙台版。将来的に様々なコンテンツとのタイアップを検討予定。

パブリックディスプレイ／デジタルサイネージの商品情報やお客さま事例をご覧ください。

sony.jp/public-display/

ソニービジネスソリューション株式会社 / 〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18

記載の商品に関するお問い合わせは

ソニー業務用商品相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333

●携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 0466-31-2588

●FAX 0120-333-389

●受付時間 9:00～18:00（土・日・祝日、および年末年始は除く）

2010年11月現在